

医療圏別具体的対応方針等検討状況整理票

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方 について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5									
				R3.7.1	R7.7.1		地域 医療 支援	救 急 医 療 支 援	在 宅 療 養 支 援	在 宅 療 養 後 方 支 援	終 末 期 医 療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床 数(2025)	変更 あり	変更 なし	検討 中	具体的な変更内容等			
1	宇部・小野田	サンボプラ病院	療養 42 42	慢性 42 慢性 42							○				・周辺地域の無床診療所からの入院患者受け入れを行っているが、さらに連携を強化して機能を充実させていく。 ・急性期医療(整形外科手術等)を受けた後の入院患者の在宅復帰に向けた受け皿としての機能をさらに充実させていく。	慢性 42 慢性 42						
2	宇部・小野田	山口宇部医療センター	一般 335 335	急性 335 慢性 215 慢性 120							○	○			・がん、呼吸器疾患の専門病院として、地域医療機関との連携により高度で先進的な診療を行っている。 ・県から特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)に指定されている。全国でも肺がん症例が多く、肺がんの診断から緩和ケアまであらゆる病期の患者の診療をシームレス行うことが可能である。 ・治験・臨床試験の実施など全国レベルの質の高い先進的な臨床研究を行っている。 ・山口大学医学部附属病院と連携した呼吸器専門医の養成等の医師教育等、地域医療の向上に努めている。 ・結核及び重度心身障害児(者)にかかる政策医療(セーフティネット系医療)も担っている。	急性 335 慢性 215 慢性 120						
3	宇部・小野田	山口大学医学部附属病院	一般 713 713	高度 713 急性 310 急性 403							◎				・特定機能病院として、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する。 ・特定機能病院、肝疾患診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院及び総合周産期母子医療センターとして、2次医療圏の範囲を越えた地域の住民を対象として、専門性の高い医療を提供する。 ・山口県内唯一の医育機関として、山口県の実情に応じた教育体制を構築する。	高度 713 急性 309 急性 404						
4	宇部・小野田	宇部協立病院	一般 159 療養 105 療養 54	急性 159 回復 53 慢性 52 慢性 54							○	○			・地域包括ケア病棟により、地域における回復期機能の一翼を担う。 ・在宅療養支援病院(在宅医療の実施、在宅支援診療所との連携) ・2次救急担当。	急性 159 回復 53 回復 52 慢性 54						
5	宇部・小野田	宇部仁心会病院	一般 47 療養 22 療養 25	急性 47 慢性 22 慢性 25											・地域病院としての診療所からの入院受入態勢・連携の強化を充実させていく役割。 ・透析患者・心臓疾患患者への対応で現状の急性期・慢性期の病棟機能を整備する。	急性 47 慢性 22 慢性 25						
6	宇部・小野田	宇部記念病院	一般 190 療養 128 療養 62	急性 190 慢性 66 慢性 124							○	○			・かかりつけ医機能と共に在宅医療を担い、入院医療においては、サブアキュート機能・ポストアキュート機能・在宅復帰支援を中心とした回復期医療及び療養病棟・障害者病棟の運営による慢性期医療を提供する。 ・2次救急医療は引き続き担い充実を図る。 ・住民に向けて、健康づくり・介護予防教室・住民カフェの開催等の地域貢献活動に取り組む。	急性 190 回復 45 回復 55 慢性 90						
7	宇部・小野田	宇部興産中央病院	一般 384 384	高度 384 急性 62 回復 237 回復 85							○	○			・4機能のうち高度急性期・急性期が中心である。	高度 396 急性 62 回復 246 回復 88						
8	宇部・小野田	社会医療法人尾中病院	一般 110 療養 60 療養 50	回復 110 慢性 60 慢性 50							○				・4機能のうち、回復期、慢性期が中心。	急性 110 回復 14 回復 46 慢性 50						
9	宇部・小野田	宇部第一病院	療養 160 160	回復 160 慢性 32 慢性 128											・回復期機能、慢性期機能を担う。 ・介護保険施設等を併設し、医療・介護のシームレスな連携が可能。	回復 160 慢性 32 慢性 128						
10	宇部・小野田	宇部リハビリテーション病院	療養 232 232	回復 232 慢性 40 慢性 192								○			・回復期機能、慢性期機能を担う。	回復 232 慢性 92 慢性 140						
11	宇部・小野田	セントヒル病院	一般 184 療養 101 療養 83	急性 184 回復 101 慢性 83							○				・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担う。 ・4機能のうち急性期が中心。	急性 184 回復 101 回復 43 慢性 40						
12	宇部・小野田	厚南セントヒル病院	一般 80 療養 40 療養 40	急性 80 慢性 40 慢性 40											・人工透析治療を主とした泌尿器科の診療が中心、一般病棟、療養病棟を持つケアミックスの病院であり、4機能で言えば慢性期寄りに位置する。 ・サポート病院として、内科系の救急受入を中心として宇部・山陽小野田圏域の救急輪番に参加している。	急性 80 慢性 40 慢性 40						

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1		病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方 について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5															
			R3.7.1	R7.7.1	R3.7.1	R7.7.1		地域 医療 支援	救急 医療 施設	在宅 療養 支援	在宅 療養 後方 支援	終 末 期 医 療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床 数(2025)	変更 あり	変更 なし	検討 中	具体的な変更内容等									
24	宇部・小野田	のむら大腸肛門クリニック	一般 19	19	急性 19	急性 19							・4機能のうち急性期機能が中心。	・大腸・肛門患者への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していく。	急性 19														
25	宇部・小野田	はしもと産婦人科医院	一般 11	11	急性 11	急性 11							・急性期機能(分娩)を担う。	・地域における 出産・入院の ニーズに対応するため現状維持。	急性 11														
26	宇部・小野田	吉永外科医院	一般 14	14	急性 14	急性 10							・急性期機能を担う。	・日本大腸肛門病学会専門医として、引き続き肛門(痔)の手術を入院にて安全に行い、大病院の外科の負担を減らす。 ・大腸内視鏡検査にて、一泊入院で大腸ポリープのポリペクトミーを安全に行い、大病院の消化器科の負担を減らす。 ・宇部市の大腸がん検診の精密検査を施行する医療機関として、多くの他院からの紹介を受けている。 ・市内の身近なかかりつけ医としての機能も継続する。	急性 10														
27	宇部・小野田	南園クリニック	一般 19	19	急性 19	急性 19					○		・人工透析患者に対する療養、外科的治療を要さない急性期脳卒中患者に対する療養、在宅医療を提供している方への療養が中心。	・在宅医療を提供している方の急性期の対応を今後も充実させていく必要がある。 ・高度急性期からの在宅復帰に向けた患者の受入れ機能を充実させていく必要がある。(脳卒中後のリハビリテーションの提供など)	急性 19														
28	宇部・小野田	植田救急クリニック	一般 10	10	急性 10	急性 10							・24時間365日急患対応できる救急クリニックとして地域に貢献。	・急性期のみならず「かかりつけ医」としての役割も全うしていく。 ・これまで通り、地域の基幹病院と連携を図り、地域医療に貢献していく。	急性 10														
29	宇部・小野田	紫苑リハビリ内科クリニック	一般 19	19	回復 19	回復 19					○	○	・回復期リハビリが中心。	・脳血管及び骨折後等のリハビリを中心とした回復期リハビリを今後も続けていく。	回復 19														
診療所小計			一般 109 療養 0	109	高度 109 急性 0 回復 90 慢性 19	105 0 86 19 0							0	0	2	0	1			高度 105 急性 0 回復 86 慢性 19	0	0	0						
医療圏合計			4,132 一般 2,714 療養 1,418	4,132	高度 4,132 急性 378 回復 1,783 慢性 615 休棟 1,356 休棟 0	4,111 378 1,721 743 1,269 0							2	10	7	5	1			642 回リハ 242 地ケア 400					高度 4,095 急性 377 回復 1,759 慢性 764 休棟 1,195	0	0	0	

※1:令和3年度病床機能報告における病床数。

※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、【地ケア:地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ:回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、【終末期医療:令和3年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4:「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5:「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針(2025プラン等)について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。

②変更が必要ない場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。